**●●●シェイクアウト参加者募集**

イメージ画像（安全行動の1-2-3）

その他指定の画像があればご指示ください。

訓練についての説明

**お申し込みについて**

申し込み方法についての説明

**■電話・ファックスからのお申し込み、問い合わせ**

主催者名称

電話

ファックス

メールアドレス

**参加登録ページへ**

**■インターネットからのお申し込み**

**訓練参加をご希望の方は、お手数ですが、下記からご登録をお願い致します。**

**※参加登録ページのフォーマットは別紙をご参照ください。**

**被害想定（訓練想定）**

被害想定を記入、もしくは該当のＵＲＬ等を記載

**平成●●年●●月●●日（●）午前●●時●●分、●●●を震源とする大規模な地震が発生した。**

**想定最大震度　６強　※震度階級については　こちら（気象庁ホームページ）もご覧ください。**

**※詳細な被害想定は　こちら（主催者ホームページ等）　をご覧ください。**

**イベント詳細**

**■日時**

**平成●●年●●月●●日（●）　●●時●●分**

**■主催者**

**●●●市**

**■対象者**

**●●●市在住、在勤、在学の方、市内の学校・企業・団体(町内会)等**

**その他●●●市シェイクアウトへの参加を希望される方、企業、団体等**

**■開始の合図**

**例）時間になりましたら住民放送によりサイレンが鳴ります。サイレンが聞こえたら訓練を開始してください。**

**例）登録希望者に対して●●●市緊急速報メールを配信します。受信したら訓練を開始してください。**

**※　サイレンが聞こえない・メールが受信できない場合でも、時間になったら訓練を開始してください。**

**■内容**

**地震による揺れを感じたら（感じたという想定）、その場で約１分間、安全行動の１－２－３**

**ＤＲＯＰ（まず低く）、ＣＯＶＥＲ（頭を守り）、ＨＯＬＤ－ＯＮ（動かない）をとってください。**

**その後、避難、安否確認、情報収集・伝達、救助救出・応急手当訓練等の計画があれば実施してください。**

**■訓練に向けて（事前学習、注意事項）**

**１．シェイクアウトホームページで災害想定や安全行動を確認してください。**

**２．安全行動訓練は、参加場所や人数を問いません。普段の生活や業務のなかで実施することが重要です。**

**ただし、運転中や危険を伴う作業中などは無理に行う必要はありません。時間をずらして実施してください。**

**３．実際の地震を想定するため、なるべく身近な人に声をかけて一緒に安全行動をとってください。**

**４．この機会に、ご家族や職場、近隣の方と地震防災について話し合い、対策することをお勧めします。**

**■関連ＵＲＬ**

**●●●ホームページ**[**http://www**](http://www)**.●●●**

**シェイクアウト事前学習ページ　http://www.shakeout.jp/questionnaire.html**

**■その他**

**日本版ShakeOut（シェイクアウト）について**

**2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震は、日本の防災訓練を改めて見直すきっかけとなりました。従来の行政主導による動員型の防災訓練を さらに発展させ、行政と住民、専門家、ボランティア等が共同して企画・運営する協同参加型の訓練を目指すうえで参考とされたのが米国のシェイクアウト訓練 です。
　2012年1月、林春男・京都大学防災研究所巨大災害研究センター教授、平田直・東京大学地震研究所地震予知研究センター教授ら日本を代表する防災研究 者を中心に「効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議（略称：ShakeOut提唱会議）」が結成され、2012年3月9日に千代田区で学校・企業等の参加に よる国内初の日本版シェイクアウト訓練が実施されました。**

**資料ダウンロード**

**ポスター、チラシ、報告書、レポート等　（シェイクアウト共通＋主催者提供によるもの）**

**※必須ではありませんが、あったほうが登録希望者の事前学習がスムーズです。**

**これまでの実施について**

**過去に実施した防災訓練・イベント、シェイクアウトの写真　等**

**（必須ではありません）**